

2008年3月

オノセリス ヒソピフォリア

Onoseris

(*Onoseris hyssopifolia* Kunth)

オノセリス ヒソピフォリア審査基準

I. 審査基準の対象(Subject of these Guidelines)

この審査基準は、キク科 (*Asteraceae*) オノセリス属 (*Onoseris* Willd) ヒポセリス亜属 (*O. hipposeris*)の、ヒソピフォリア種 (*O. hyssopifolia* Kunth) の全ての品種に適用する。

II. 提出種苗(Material Required)

- i) 種苗の形態 挿し芽発根苗 (挿し穂は花芽を切除した 3cm 程度の分枝)
- ii) 数量 30 個体
- iii) 提出時期 審査当局が指定する時期
- iv) 提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。
- v) 提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

III. 試験の実施(Conduct of Tests)

- i) 栽培条件 特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。
- ii) 最低供試個体数 特性調査時に、20 個体を下回らないこと。
- iii) 栽培期間 2 生育周期
- iv) 調査方法
 - 調査個体数 特に指示がない限り、植物体 10 個体又は各個体から採取した部分 10 個とする。均一性は供試した全ての個体で判定する。
 - 調査時期等 特に指示がない限り、2 次分枝の花が咲き揃う時期に行う。
- v) 特別な試験 特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が申告し、方法等が十分に提示され、審査当局が合意した場合は特別な栽培試験を実施することがある。

IV. 判定基準(Standards for decisions)

判定は、登録出願品種審査要領の区別性、均一性及び安定性 (D.U.S.) 審査のための一般基準に基づくものとする。

供試個体数が 20 の場合、許容される異型個体数は 1 である。

V. グループ分けに使用する形質(Grouping of Varieties)

- i) 花の深裂片の有無 Ray floret: presence of corona (inner lip) (形質 17 Char.17)
 - ii) 舌状花表面の色数 Ray floret: number of colors on upper side (形質 21 Char.21)
 - iii) 舌状花表面の主な色 Ray floret: main color on upper side (形質 22 Char.22)
- 以下の状態区分とする。

Gr. 1 : 白 white

Gr. 2 : 黄 yellow

Gr. 3 : 橙 orange

Gr. 4 : 桃 pink

Gr. 5 : 紫 purple

VI. 特性表で使用する記号の説明

QL：質的形質

QN：量的形質

PQ：疑似の質的形質

G：グループ分けに使用する形質

(+)：特性表の説明を参照

VII. 特性表(Table of characteristics)

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1		QL (+)	草姿	Plant: growth habit type	花と葉群で構成される植物体の姿	観察	1 2	直立 開張	upright spreading	アスターA系統	
2		QN	草丈	Plant: height	地際部から最頂部までの長さ	測定 cm	3 5 7	低 中 高	low medium high	アスターA系統	30~35
3		QN	株幅	Plant: width	株の最大幅	測定 cm	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	アスターA系統	50~60
4		QN	分枝の長さ	Stem: length of largest primary lateral shoot	最長二次分枝の基部から花茎基部までの長さ	測定 cm	3 5 7	短 中 長	short medium long	アスターA系統	≤3 3~5 5<
5		QN	分枝の太さ	Stem: thickness	最長二次分枝の中間部の太さ(直径)	測定 mm	3 5 7	細 中 太	thin medium thick	アスターA系統	1.8~2.0
6		QN	葉の長さ	Leaf: length	最長二次分枝に着生する最大葉の長さ	測定 cm	3 5 7	短 中 長	short medium long	アスターA系統	5
7		QN	葉の幅	Leaf: width	最長二次分枝に着生する最大葉の最大幅	測定 cm	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	アスターA系統	0.5
8		QN	葉の縦横比	Leaf: length/width	最長二次分枝の最大葉の長さとの比	測定	3 5 7	小 中 大	small medium large	アスターA系統	10

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
9		QN	葉の緑色の濃淡	Leaf: intensity of green color on upper side	最長二次分枝の最大葉表面の緑色の程度	観察	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark	アスターA系統	
10		QN	頭花の直径	Flower head: diameter	最長二次分枝頂花の最大展開時の自然状態での花径(以下同様の花とする)	測定 cm	3 5 7	小 中 大	small medium large	アスターA系統	2 4 6
11		QN	管状花部の直径	Flower head: diameter of disc	管状花部の直径	測定 cm	3 5 7	小 中 大	small medium large	アスターA系統	0.5
12		PQ	管状花部中心の色	Flower head: color of center of disc	開花時における管状花中心部の色	観察	1 2 3 4 5	緑 黄 橙 赤 紫	green yellow orange red purple	アスターA系統	
13		PQ (+)	舌状花弁の向き	Ray floret: attitude	最外花弁の最大展開時における花弁全体の向き	観察	1 2 3	斜上 水平 斜下	diagonal upward horizontal diagonal downward	アスターA系統	
14		QN	舌状花の数	Ray floret: number of ray florets	最長二次分枝頂花の舌状花数(深裂片は含めない)	測定 枚	3 5 7	少 中 多	few medium many	アスターA系統	10 20 30
15		QL (+)	舌状花の形	Ray floret: shape (outer ray floret)	最外花弁の形(深裂片を除いた形)	観察	1 2 3	矩形 楕円形 倒三角形	oblong elliptic obtriangular	アスターB系統 アスターA系統	

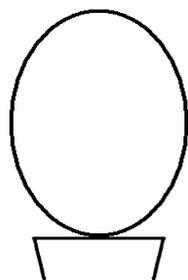
形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
16		QN (+)	舌状花先端部の切れ込みの深さ	Ray floret: depth of incisions of apex (outer ray floret)	最外花弁先端部の切れ込みの深さ	観察	1 3 5 7	無又は極浅 浅 中 深	absent or very shallow shallow medium deep	アスターA系統 アスターB系統	
17		QL G (+)	舌状花の深裂片の有無	Ray floret: presence of corona	舌状花の深裂片の有無	観察	1 9	無 有	absent present	アスターA系統 アスターB系統	
18		QN	舌状花の長さ	Ray floret: length	最外花弁の長さ	測定 mm	3 5 7	短 中 長	short medium long	アスターA系統	20
19		QN	舌状花の幅	Ray floret: width	最外花弁の最大幅	測定 mm	3 5 7	短 中 長	short medium long	アスターA系統	5
20		PQ G	舌状花表面の色数	Ray floret: number of colors on upper side	花弁表面の色数	観察	1 2 3	1 2 3以上	one two more than two	アスターA系統	
21		PQ G	舌状花表面の主な色	Ray floret: main color on upper side	花弁表面の一次色 (面積割合が最も大きい色)	観察		RHS カラーチャート番号	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
22		PQ	舌状花表面の複色	Ray floret: secondary color on upper side	花弁表面の二次色 (面積割合最大色に次ぐ色)	観察		RHS カラーチャート番号	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
23		PQ (+)	舌状花表面の複色の分布(複色品種に限る)	<u>Only varieties with bi- or multicolored flowers</u> : Ray floret: distribution of secondary color on upper side	花卉表面の二次色の着色の分布位置	観察	1 2 3	主に基部 主に中間部 主に先端部	mainly at base mainly at middle mainly at tip	アスターA系統	
24		PQ	舌状花裏面の主たる色	Ray floret: main color on lower side	花卉裏面の主たる色	観察	1 2 3 4 5	白 黄 橙 桃 赤	white yellow orange pink red	アスターA系統 アスターB系統	
25		QN	花柄の長さ	Peduncle: length (terminal flower of main stem)	最長二次分枝の最終展開葉着生部から総ほう基部までの長さ	測定 cm	3 5 7	短 中 長	short medium long	アスターA系統	15
26		QN	花柄の太さ	Peduncle : thickness	最長二次分枝の花柄中間部の太さ	測定 mm	3 5 7	細 中 太	thin medium thick	アスターA系統	1.5
27		QN	花柄のアントシアニン着色の強弱	Peduncle: intensity of anthocyanin coloration (on the middle third)	花柄のアントシアニン着色の程度	観察	1 3 5 7	無又は極弱 弱 中 強	absent or very weak weak medium strong	アスターA系統 アスターB系統	
28		QN	総ほう部の長さ	Involucure: length	総ほう部の長さ	測定 cm	3 5 7	小 中 大	small medium large	アスターA系統	1.5

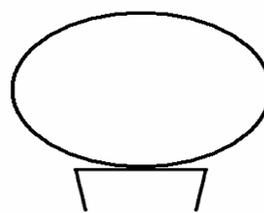
形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
29		QN (+)	総ほう部のアントシアニン着色の強弱	Involucure: intensity of anthocyanin coloration	総ほう部のアントシアニン着色の程度	観察	1 3 5 7	無又は極弱 弱 中 強	absent or very weak weak medium strong	アスターA系統 アスターB系統	
30		QN	開花始期	Time of beginning of flowering	開花始期の早晩(最終摘心後から開花までの到花日数)	測定 日	3 5 7	早 中 晩	early medium late	アスターA系統	

VIII. 特性表の説明(Explanations on the Table of Characteristics)

形質 1 植物体の草姿 Char.1 Plant: growth habit type

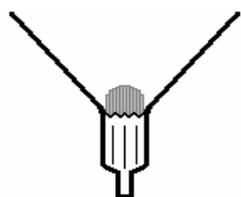


1
直立
upright



2
開張
spreading

形質 13 舌状花卉の向き Char.13 Ray floret: attitude



1
斜上
diagonal upward

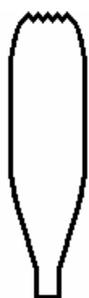


2
水平
horizontal



3
斜下
diagonal downward

形質 15 舌状花の形 Char.15 Ray floret: shape



1
矩形
oblong

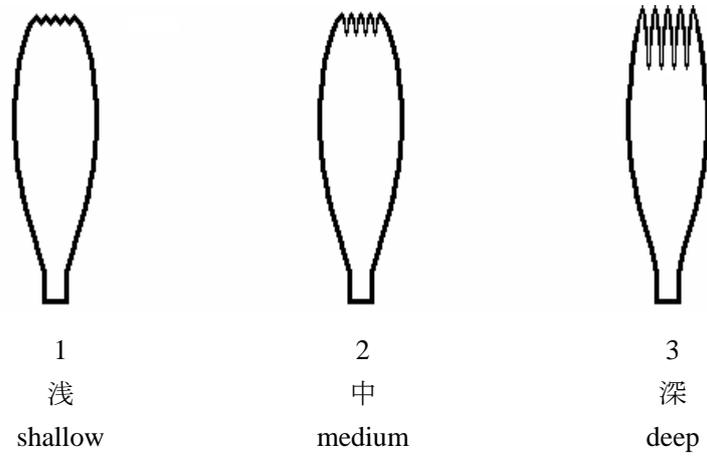


2
楕円形
elliptic

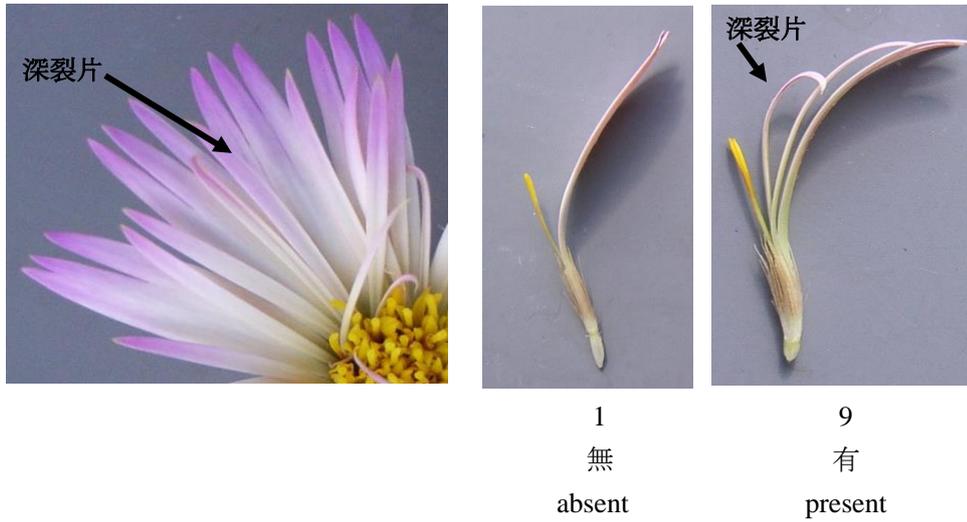


3
倒三角形
obtriangular

形質 16 舌状花の先端部の切込みの深さ Char.16 Ray floret: depth of incision of apex

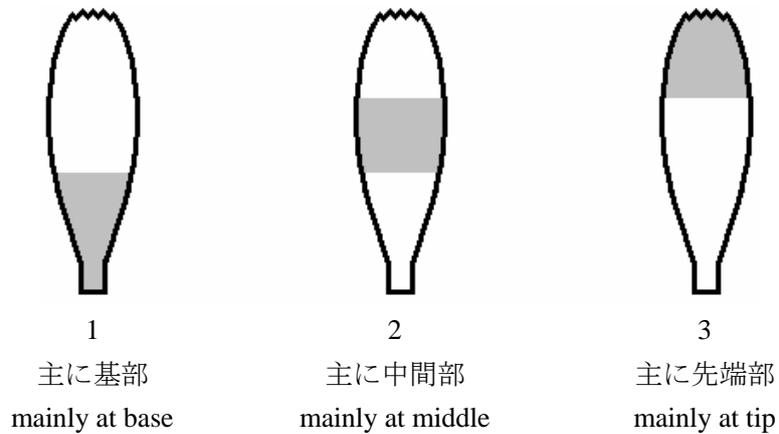


形質 17 舌状花の深裂片の有無 Char.17 Ray floret: presence of corona



形質 23 舌状花の複色の分布

Char.23 Ray floret: distribution of secondary color on upper side



形質 29 総ほう部のアントシアニン着色の強弱

Char.29 Involucure: intensity of anthocyanin coloration



5
中
medium

新規植物特性調査の概要

1. 現地調査

調査年月日 平成 19 年 10 月 22 日(月)～23 日(火)
調査者 大石 一史 愛知県総合農業試験場園芸研究部総括研究員(班長)
沼口 憲治 農林水産省種苗課審査室審査官
前田 秀樹 種苗管理センター業務調整部栽培試験課審査係長
調査場所 長野県木曾郡木祖村
(有)角田ナーセリーの所有施設内
対応者 西川公一郎 氏 (有)角田ナーセリー企画部育種科嘱託研究員
角田ミサ子 氏 (有)角田ナーセリー専務取締役

2. 栽培調査

調査年月日 平成 19 年 10 月～平成 20 年 3 月
調査者 前田 秀樹 種苗管理センター業務調整部栽培試験課審査係長
調査場所 茨城県つくば市藤本 2-2 (種苗管理センター)

3. 調査結果及び所見

1) 本属について

本属はメキシコからアルゼンチンまでアンデス山脈を通過して広く分布し、31 種或はそれ以上の種があり、ペルーが起源(多様性の中心)とされる。本属は、葉柄の有無等により 2 亜属に分類され、有柄葉のオノセリス(*O. onoseris*)亜属と無柄葉かほとんど葉柄のないヒポセリス亜属(*O. hipposeris*)がある。形態学的研究に基づく系統発生の解析がなされているが、形態学単独では分類の難しい種も見られる。

2) 対象とする範囲について

2 亜属のうち、調査を実施したヒソピフォリア種 (*O. hyssopifolia* Kunth) は葉柄のないヒポセリス亜属に分類され、夜温 8℃を下回らない熱帯地域の標高 3000m 程度の高山の岩場に点在して自生する。本種が属する亜属では花冠に多型が認められ、種によっては交雑可能であるが、これまで、国内では園芸的に扱われている品種はなく、情報が希薄である。このため、本基準案の対象とする範囲は、ヒソピフォリア種 (*O. hyssopifolia* Kunth) のすべての品種とした。

3) 本種の特性について

本種は、生育条件が整えば、日長に関係なく周年開花するが、高温には比較的弱く、真夏には生育が緩慢になり、花色が退色する。また、真冬も零下になると生育が止まるか枯死する。生育適温は 15～20℃で、5℃程度までの耐寒性があるとされる。

本種は 1 本の茎から複数(概ね 2～3 本)に分枝し、各分枝に頂花を付ける。分枝は更に同様に分枝し、それを繰り返して伸長する。開花は着蕾した花茎が伸長し始めてから概ね 2 週間程度で開花し、1 花の開花期間は比較的長い。また、日中開花して夜間は花を閉じる就眠性が認められる。

4) 標準品種「アスター A 系統」、「アスター B 系統」について

「アスターA系統」、「アスターB系統」は、(有)角田ナーセリー企画部育種科
嘱託研究員の西川公一郎氏が海外から収集し、育種素材として維持しているもので、
本基準案作成にあたって、標準品種として提供いただいたものである。

4. 栽培方法 <モデル>

1) 作 型：施設鉢栽培

1～2月 挿し芽 → 3月 鉢定植 → 5月 1次分枝開花 → 6月 2次分枝開花
128穴セルトレイ 10.5cmポット

2) 耕種概要

挿し芽：本種は1つの茎から複数(概ね3本)に分枝し、早い段階から頂芽が花芽分
化するため、比較的若い分枝の先端3cm程度を、花芽がある場合は切除して
挿穂とし、128穴セルトレイに挿す。それ以降は摘心しない。用土には無肥
料のパーライト、ピート、赤玉土等の混合土を用いる。発根は挿し木後5週
間程度かかる。

定 植：挿し木後6週間程度で10.5cmポットに鉢定植する。用土にはピート、パー
ライト、赤玉土、腐葉土等の入った市販の園芸培土を用いる。

施 肥：定植用培土1リットル当たり、緩効性肥料(グリーンマップ(N:P:K=6:36:6))
及び超緩効性肥料(グリーンマップⅡ(N:P:K=6:38:6))を等量ずつ併せて3g程
度を用土に混和する。生育時の必要に応じてIB化成(N:P:K=10:10:10)を適宜
施用する。

水管理：鉢栽培の場合、水分は切らさない程度に与え、風通しを良くする。乾燥さ
せると下葉から枯れ上がる。

防 除：ヨトウムシ等の食害を受けるので注意する。その他は特になし。

その他：営利栽培では花壇用苗として2月に挿し、4月に10.5cmポットで出荷。

3) 調査適期

2次分枝の花の咲き揃う時期が株の大きさも適当であり、開花盛期と判断される
ことから、この時期を調査適期とする。

5. 参考文献

- 1) Walter Erhardt et.(2002) Zander 17th Edition Dictionary of plant names: p607
- 2) GISELA SANCHO (2004) Phylogenetic Relationships in the Genus Onoseris (Asteraceae,
Mutisieae) Inferred from Morphology. Systematic Botany 29(2): p432-447
- 3) Internet. <http://cat.inist.fr/?aModele=afficheN&cpsidt=15775825>

6. 既存品種特性一覧

	形 質 名	階 級	アスターA系統 参考値		階 級	アスターB系統 参考値	
1	草姿	2	開張性		2	開張性	
2	草丈(cm)	5	中	30~35	5	中	30~35
3	株幅(cm)	7	広	50	7	広	50
4	分枝の長さ(cm)	5	中	3~5	5	中	3~5
5	分枝の太さ(mm)	5	中	2	5	中	2
6	葉の長さ(cm)	5	中	4~5	5	中	4~5
7	葉の幅(cm)	5	中	0.5	5	中	0.5
8	葉の縦横比	5	中	10	5	中	10
9	葉の緑色の強弱	5	中		5	中	
10	頭花の直径(mm)	5	中	4	5	中	4
11	管状花部の直径(cm)	5	中	0.5	5	中	0.5
12	管状花部中心の色	2	黄		2	黄	
13	花弁の向き	1	斜上		1	斜上	
14	舌状花の数	5	中	15	5	中	15
15	舌状花の形	2	楕円形		1	矩形	
16	舌状花先端部の切れ込みの深さ	3	浅		5	中	
17	舌状花の深裂片の有無	1	無		9	有	
18	舌状花の長さ(cm)	3	中	25	5	中	30
19	舌状花の幅(cm)	5	中	5	5	中	5
20	舌状花表面の色数	2	2		2	2	
21	舌状花表面の主な色	RHS NN155D			RHS NN155D		
22	舌状花表面の複色	RHS N74C~D			RHS N76C~D		
23	舌状花表面の複色の分布 (複色品種に限る)	1	先端部		1	先端部	
24	舌状花裏面の主たる色	3	橙		5	赤	
25	花柄の長さ(cm)	5	中	15		中	15
26	花柄の太さ(mm)	5	中	1.5		中	1.5
27	花柄のアントシアニン着色の強弱	1	無又は極弱		3	弱	
28	総ほう部の長さ(cm)	5	中	1.5		中	1.5
29	総ほう部のアントシアニン着色の強弱	3	弱		5	中	
30	開花の早晩性(日)	5	中			中	

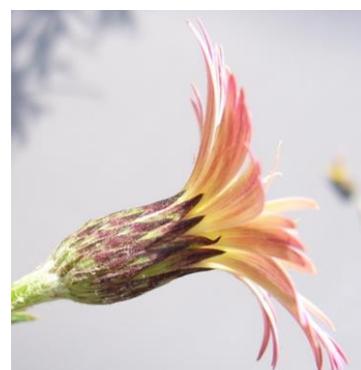
7. 参考写真



アスターA系統（花の正面）

アスターB系統（花の正面）

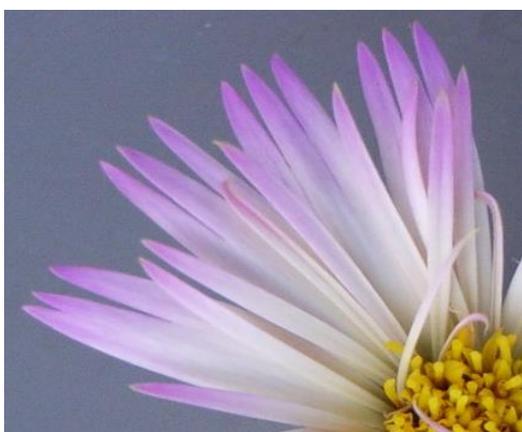
育成系統（花の正面）



アスターA系統（花の裏面）

アスターB系統（花の裏面）

アスターB（総ほう部）



アスターB系統(舌状花弁、深裂片)

深裂片:アスターA系統(無)、アスターB系統(有)

育成系統の株 →

